



4386



Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho). The text is arranged in vertical columns. A large circular seal is visible on the left side of the upper section.



Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho). The text is arranged in vertical columns. A large circular seal is visible on the right side of the lower section.



Handwritten Japanese text in three columns on the top left page. The characters are written in a cursive style (sōsho). The first column contains characters that appear to be '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十'. The second column contains characters that appear to be '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十'. The third column contains characters that appear to be '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十'.

Handwritten Japanese text in three columns on the bottom left page. The characters are written in a cursive style (sōsho). The first column contains characters that appear to be '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十'. The second column contains characters that appear to be '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十'. The third column contains characters that appear to be '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十'.



Handwritten Japanese text in three columns on the right page. The characters are written in a cursive style (sōsho). The first column contains characters that appear to be '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十'. The second column contains characters that appear to be '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十'. The third column contains characters that appear to be '一', '二', '三', '四', '五', '六', '七', '八', '九', '十'.

甲州 白雲
 乙州 白雲
 丙州 白雲
 丁州 白雲
 戊州 白雲
 己州 白雲
 庚州 白雲
 辛州 白雲
 壬州 白雲
 癸州 白雲

(Faint handwritten Japanese text)

未十月十一日

正位下
張孫

甲引白藤
根岸石以
引之好又未
川寄干子
常引藤節
武上之少
下臨干年
序中各子
玄相古也

新電器
柳子錦衣
富川老木
二
中
高
名
好
白
女
枝
馬
人
傳
如

浦口也帶一
長南連

長壽通

來月一日

張力耳

苦海

根是子多此以
甲引白髮
川清子馬
唐引馬子
唐引馬子
下引馬子
下引馬子
武上馬子
武上馬子
武上馬子
武上馬子
武上馬子

来

田東ノ大井ノ年怪ニ物々ある
 宇ビとも是より荒布柄
 情んぐの痛イノ家文ニ和メ
 邵もらんまぐりメア^ニ造^ニめ
 とも年ノ^ニ世イ大ぬるか^ニ通^ニの^ニ痛
 月日^ニ居^ニか^ニと^ニ物^ニ味^ニの^ニ小^ニ夜^ニ衣
 花生^ニつ^ニ何^ニ名^ニが^ニ舞^ニハ^ニマ^ニう^ニの^ニ好^ニ幸
 小^ニ夜^ニ衣^ニあ^ニか^ニく^ニ次^ニ仲^ニめ^ニる^ニ者^ニか
 下^ニか^ニう^ニ履^ニ履^ニ人^ニの^ニれ^ニせ^ニと^ニ書^ニる^ニ
 海^ニも^ニり^ニ下^ニえ^ニり^ニ穿^ニく^ニ春^ニの^ニ色

[illegible]

自
 孝
 好
 毒
 中
 佛
 利
 之
 个
 仁
 八
 之
 或
 孝
 一
 二
 三

千辛也
老書也
折白
二サ口

世安子為

正西伯下法眼之孫

茗香

東坡大易句元一萬家金鑑集

折白
クニ
ユタカ

○
はつ
ぎやう
ふ

天
 文
 星
 集
 卷
 之
 一
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

神田公三
名
掃系に引
度
五
我丁柄
千
利
元
子
あ

三

七点
子
相
心
唱
好
知
之
方
家
事
一
娘

李

未六月十一日

萬葉集九七百六卷

正四
德下
法眼
孫

墓

人の心は世に
うつろふなり
と云ふは
石の上にも
草は生え
と云ふは

コ 不凡附と云ふ新も初びきき通
イ 痛くは正妻の天合うけと
ミ 赤糸等りあるぐち申 研
人 衆へやう 残りの汁
コ 酒飲での伸ひやうくまむし
ひ 田子生障の味男ゆいこう
あてせに 立たり 丹ころ又毒なり
よせろ 病うらなうらなう
一 居候よりいふるゝ病を呪む
イ 生けるお母さんと様えんも
イ 蛇(が)丸中より入る者のも
イ 志系の外へ解城と云ふべくて

水戶、上野、
 根尾、久保、
 甲州、白土、
 足利、好古、
 有馬、久保、
 房州、梅尾、
 武上、三浦、
 上下、津和野、
 武州、三浦、
 二、三、利根、
 那、利根、
 下、利根、

西州
 下
 柳
 溪
 一
 好
 林
 考
 考
 高
 帝
 自
 利
 王
 干
 相

東二日之日

百集卷元七千余卷

政令入内を以て
此のついでに
おのれに重んじられ
ひたすら
おのれに
おのれに

正堂下張孫

其

ヒ 枕頭に折ぬ振のひの光
 カ び出^こて楚切^こくのけしき
 ト 花も夏に帰る打^うつに
 それ 故^ゆにふたあふあけ光
 カ 害^{がい}の害と唱^なるあふ光
 レ 文系^{ぶんけい}はくの院^{いん}に五六人
 早^{はや}に勉^{めん}ふあふり流^{りゅう}次^じあふ
 ヒ 自^{みづか}ら夢^{ゆめ}るさうなと涙
 カ 年^{とし}あふ福^{ふく}料^{りょう}と目^めあふれ
 夢^{ゆめ}て七^{しち}夕^{しゆ}と想^{おも}ふれ
 夢^{ゆめ}て七^{しち}夕^{しゆ}と想^{おも}ふれ

[illegible]

補田五
 抑承鈔
 南和桐
 武州虎
 子
 一主
 老
 侯可
 收又
 告
 子
 我
 千
 一
 上
 事
 子
 子
 仙

香和永

東之ヲ

正位下注服孫

萬

足立村又木
川葉平
相家
高所
或引
上引
那引
或上
或相
二三
或上
作田
或上

[illegible]

李樹連
 李樹連
 凡元子
 通王虎
 李樹連

正の條
七
五

若死

武列 石木
根 岩 久 仙
足 立 好 久 木
高 列 毒 水
者 列 石 浮 海
川 渡 千 手
中 中 石 手
木 上 手 手
上 下 傳 文 手
上 手 手 手
上 手 手 手
上 手 手 手

[illegible]

卷之五

年十二
七千

[illegible]

正位 玄服孫
其

[illegible]

相列二葉
根葉之仙
川湯干石
水戶之垣
氏列名本
氏之高砂
邦列高砂
邦列高砂
神田之鹽
氏上松之
氏上松之
氏上松之

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

五月廿二日
 牛嶋上邸至三宮業師の家

紅梅
卷之
五

十二月
連子名案
風式撰

[illegible]

名物出、中腹と云ふも、初め、魚の、乃ちお趣
おき、亦く、なれん、十九日、分押通一、魚の
仕度、い、何、時、所、以、有、と、わ、れ、る、事、布、り、空
い、去、初、め、や、く、云、成、約、より、う、
万化

五秋中田よりなるハヤ
エのひくま
あふち
やう

正德下生服練

水、万、あゝ勝てゝまへにたまは
肥ふるが友ゝ貴し布衣長の務
来と成つて随ふぬ　う
完りと笑や當もあゝ咽ふ
さああゝ例刻は受る又花
うゝみゝの妙極りそゝと
十　香るきゝ西海乃皮は酒を
サ　香竹一丈ある事　山嵐
まゝあゝ城と籠り素ガ出
ホ　あゝ一丸も情なしあゝり
ヲ　けい其石が元下は崔とは

市川元太
川若千鳥
市川二葉
市川三郎
市川四郎
市川五郎
市川六郎
市川七郎
市川八郎
市川九郎
市川十郎

[illegible]

上卷

孟位下法眼錄

哲
ハム
ワ

川 漢 子 烏
房 列 嘉 凡
根 列 嘉 凡
甲 列 白 友
武 列 冬 木
武 列 二 葉
武 列 老 臺

福田氏
 式上
 戸
 是
 郡
 府
 二
 武
 高
 夏
 下
 上
 後
 仙
 井
 凡
 丁

不棄其元也子桑子

新編の誓命もあゝこのじ
 ころ大いなる
 人々かれはよめやせもいづれ
 ちかあふ
 づ

卷之三

正位下法脈孫

下法脈錄

フ 物高や服は酒會へや
モ 花のよき選つて格牙うらふ成
、 病ふかと雖も賣り○こもぬ
七 〇と新スそはあまの
キ 〇やひさし菜飯あるで
ぢろ お金うゝ貰つゝ梅の食づひあ
ト 梅を摘み採はつては折 後
り 文の傳へて枝の安れ 後
も 〇小夜夜女衣袖 後
フ ひさしと並んで長あとのと相
、 ゐのと並んで実びますうら
モ のの字うかれ縁は無名に書

足立 又本
根 崇 其 地
甲 列 白 岩
高 列 山 列
房 列 孟 列
野 列 高 列
武 田 高 列
下 列 山 列
高 列 山 列
二 列 山 列
高 列 山 列

[illegible]

(Faint handwritten Japanese calligraphy)

[illegible]

根 芳 之 仙
 川 寄 子 名
 甲 列 自 表
 房 列 盡 風
 武 列 名 表
 足 之 如 又 木
 神 田 有 鹽
 有 列 芳 川
 武 上 之 砂
 上 下 海 步
 武 列 老 表
 下 列 妹 名
 上 列 紅 表
 二 列 利 招 川
 有 列 名 表

正德下注服孫
苦

井ノ口 井ノ口 井ノ口 井ノ口 井ノ口 井ノ口 井ノ口 井ノ口 井ノ口 井ノ口

午十月一日

午十月一日
東京、千之五番地
ちやうどいふれぬはるに
常より
おきけり
月出
通ひ

正平居士眼孫
苦霜

[illegible][illegible]

五井千利松之呂久之井千白信一
 名年梅川マムム又文之ウセと妻
 名年梅川マムム又文之ウセと妻

永く
 白ひつとすれ
 あり

正四下法服孫

下
田
老
井
上
武
武
武
武
武
武
武

[illegible]

ふれねえとけはのうれぬ
まゝかきこい
おろし
あつた

正四位下法服孫

其

庚列名末
高列花月
限最如仙
所列二葉
更主好文才
庚上言少
序年冬多
下經保父
上下傳之書
庚列在雲
上經紅梅
二年初辰川
水元八子恒
或上妻之文
神田有盤
和江井為

奉納上經國正信稿大明神

白
く
く

下総煉有
下京煉有
好又本仙
二花夕夏
信介三郎
名イモ
井月太
中子太
うろこ
老く
紅毛
利根川
あま
好又
ふ

梅ヶ谷市
せんごう納付

庫一々也
今人主納所

萬葉集九十七卷
六百八十五卷

下
上

正四位下左服孫

其

[illegible]

限年
甲子
乙丑
丙寅
丁卯
戊辰
己巳
庚午
辛未
壬申
癸酉
甲戌
乙亥
丙子
丁丑
戊寅
己卯
庚辰
辛巳
壬午
癸未
甲申
乙酉
丙戌
丁亥
戊子
己丑
庚寅
辛卯
壬辰
癸巳
甲午
乙未
丙申
丁酉
戊戌
己亥
庚子
辛丑
壬寅
癸卯
甲辰
乙巳
丙午
丁未
戊申
己酉
庚戌
辛亥
壬子
癸丑
甲寅
乙卯
丙辰
丁巳
戊午
己未
庚申
辛酉
壬戌
癸亥
甲子
乙丑
丙寅
丁卯
戊辰
己巳
庚午
辛未
壬申
癸酉
甲戌
乙亥
丙子
丁丑
戊寅
己卯
庚辰
辛巳
壬午
癸未
甲申
乙酉
丙戌
丁亥
戊子
己丑
庚寅
辛卯
壬辰
癸巳
甲午
乙未
丙申
丁酉
戊戌
己亥
庚子
辛丑
壬寅
癸卯
甲辰
乙巳
丙午
丁未
戊申
己酉
庚戌
辛亥
壬子
癸丑
甲寅
乙卯
丙辰
丁巳
戊午
己未
庚申
辛酉
壬戌
癸亥

下經妹者
係系行司
富丁孝
富丁孝
富丁孝
富丁孝
富丁孝
富丁孝
富丁孝
富丁孝
富丁孝

三

午七月五日

正德下注服孫
廿三

上統紅梅卷
根岸水仙
豆列
赤列
青列
黃列
白列
黑列

中がきめりて深き
 ひきさるの原にむすも
 計りてしるるの原にむすも
 中がきめりて深き
 ひきさるの原にむすも
 計りてしるるの原にむすも
 中がきめりて深き
 ひきさるの原にむすも
 計りてしるるの原にむすも

孝納師より足利指野村正觀世音
 孝納師より足利指野村正觀世音

孝納師より足利指野村正觀世音
 孝納師より足利指野村正觀世音

孝納師より足利指野村正觀世音

孝納師より足利指野村正觀世音

孝納師より足利指野村正觀世音

孝納師より足利指野村正觀世音

孝納師より足利指野村正觀世音

孝納師より足利指野村正觀世音

つつ山いづる者か
 花の本とわかれこゝて悔
 まうふかねど大馬は貴なり
 あまの裾の菊くろ
 芭蕉下の花さうとけ板がしよ
 まん更に通も様のこころ
 ものへふりやまんを何と思
 り遠くちの燕とすぢりえま
 えみひびき木がワチあやうら
 このふまた葉の田舎のかさ
 千代くと存性玉ゆこ
 福物といふハヤの孫計りし
 いかにと云連一の荷賣
 こゑと歌柳とく後三坂
 左倉下城下安宕山
 (山田村家文のゆり)
 月日千手さんせま

上經

[illegible]

新皮也中

萬葉集元七十卷全

首
ひきあがりおろちよき
けりおかしう
やけなまゝく
たうへく
ふれはより
まつらふ

正蒙下法脈孫

ヒ ツ ヒ ヲ グ 首 ヒ
 親^カヲ強^カク聴^カル角田川
 去^キ入^リ来^キに^ニと^トあ^アる^ルの
 氣^キが^ガ體^{タイ}と化^ケる^ル通^ツじ
 私^シに^ニや杜^ト君^{キミ}おま^マタ^タグ^グの
 舌^{ゼツ}續^{ゾク}の^ノ末^{マタ}と^ト朽^クる^ル者^{モノ}一^ツ騎^キ
 母^{ハハ}を^ヲ成^{ナシ}者^{モノ}有^{アル}馬^{ウマ}と^ト角^{ツル}女^メの^ノ日^ヒ
 二^ニ代^{ダイ}目^メに^ニ當^{タウ}る^ル者^{モノ}を^ヲ奉^{ホウ}る^ル人^{ヒト}
 其^{ソノ}の^ノ味^ミが^ガ我^ワ市^シの^ノ味^ミと^ト同^{ドウ}じ
 賜^{ミツ}り^リ給^{キョウ}ふ^フの^ノ事^{コト}を^ヲ奉^{ホウ}る^ル其^{ソノ}の^ノ味^ミ
 今^{イマ}も^モ保^{ホウ}と^ト撫^フる^ル者^{モノ}

[illegible]

南州名木
 有列管門
 甲列自者
 根先
 南列老
 武上
 孫毛
 三木利根
 下木
 上木
 換又

[illegible]

奉納此三輪之觀世音

[illegible]

利根川

[illegible]

豆列 旭
神田已達之
殺父孫長
下娘妹才
兒一木
信列 名片
門孝干馬
信丁妻九
母又來
不子所估就
去作
花
我車平机
區食下示
已過王
去一婦
毒
中所需
信什若律

二
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

五
辛巳

正書
其氣

折句 又

[illegible]

作中ぐ耳は城の初夜
 三味線の島あちちを花の下
 まるるを探うそらもつちをか
 赤ん坊の向ふ後ろにむけられ
 信者者かきと信者のまをキカ
 ンカニグ倒ぐまのやんぐ
 大先の塵よりまを授け糸
 帯り守は目出度うまを返さう
 代らうる田その時の如し翻れ
 因言者著ぐ海金のまんと信
 まつらふふ町のまをみぐぬり
 熊を探ちりるまをさめ
 ろる霧かたけくまを撃者門
 湯りあまかるまを治り心
 も世ア又まはハ州まう
 妻りの里に連言まを法師

根家之仙
氏列 李开
是之好父来
武列 走未
有列 走未
房列 走未
武列 走未
武上 走未
下 走未
二 走未
甲列 走未
有列 走未
相列 走未
上下 走未
野列 走未
福列 走未
依家 走未

萬葉集元七千余卷

廿一

そのうぐいとまの秋
きこのよむい
うぐいとまの秋
れいぞうく

赤イ

正四位下法服孫

世宗

キ一少のちろよ花はねとちり
コ比上く尼後城塞乳母醫入也傷
ソ腰候いあむうそか海月者
ろ男老柳め信ともあれり
う三景系痛きとのと参る
コううめ云いぬりちめう
ソ増えまう前化と扣店金ノ門
こつてめみわする諸事とこひ
しげんや信ひ又七元信うり
お平吉世を平トヤ東初
子ラニカシもつらぐ

キ一少のちろよ花はねとちり
コ比上く尼後城塞乳母醫入也傷
ソ腰候いあむうそか海月者
ろ男老柳め信ともあれり
う三景系痛きとのと参る
コううめ云いぬりちめう
ソ増えまう前化と扣店金ノ門
こつてめみわする諸事とこひ
しげんや信ひ又七元信うり

[illegible]

宇 神 下 柳 信 所 好 老 毒 羽 高 干 利 好 子 子
 宇 神 下 柳 信 所 好 老 毒 羽 高 干 利 好 子 子
 宇 神 下 柳 信 所 好 老 毒 羽 高 干 利 好 子 子

一千六百零五

四集下法服孫

甚矣

[illegible]

武列 五年 毫
 甲列 自 霞
 根 岩 山
 上 紅 毒
 武列 名 木
 武列 光 去
 武列 高 砂
 武列 黑 雲 山
 武列 二 葉 木
 左 舍 十 年
 下 強 深 谷
 武列 各 自
 武列 只 去 王

[illegible][illegible]

午二二日

五華集元七千二百卷

正四位下 孫

其子

邪主

下
總
涿
谷
卷

痛毛

吳文木
孝列

豆
引
引
卷
卷

武上高砂

孫父衣

力 常安、虎室と云、か尊の名
ノ 大晦日と雖も、味もあらず
カ とも、と云え、やうか花がら
ハ 増地、あつ、陽金、の、と云
ノ 増地、あつ、陽金、の、と云
ス 神、金、酒、は、六、人
カ 業、れ、の、ま、は、大、き、は、脂、ひ、を
ケ 人の眼と接、は、せ、乃、て、や、う
マ 押、は、れ、て、は、る、の、程、は、考、へ、り、

[illegible]

力要學元也平溫而氣重

五
 年
 同
 社

正四位下法服孫

世尊

シ、ナ、ハ、リ、ナ、ク
侍と云ふ引継ぎし人々と作
りてゐたものと格子くちやを
まはしてあつた。その時又鼓聲
血なかりかく響きこえて來る。
すい、あつた。いれる海師のよ下
り、あつた。あつた。あつた。あ
つた。あつた。あつた。あつた。
あつた。あつた。あつた。あつた。
あつた。あつた。あつた。あつた。
あつた。あつた。あつた。あつた。
あつた。あつた。あつた。あつた。
あつた。あつた。あつた。あつた。

沖田鶴と云ふ
 弓之好み
 甲引
 乙引
 丙引
 丁引
 戊引
 己引
 庚引
 辛引
 壬引
 癸引
 甲引
 乙引
 丙引
 丁引
 戊引
 己引
 庚引
 辛引
 壬引
 癸引

[illegible]

苔

武列 兄子連
房列 梅風
老列 告
甲列 白
乙列 老
丙列 報
丁列 田
戊列 玉
己列 玉

上下一律言說
 上下經紅毒
 下經陰谷
 估倉千年
 或上高抄
 或列二文
 有列中
 務又中
 下總媒者
 序中免之
 修列仁子
 抑系演衣
 我名下
 新少和音
 信丁去月

正置下波歌原

甲列 白布連
 乙列 花月
 丙列 豐
 丁列 好又本
 戊列 田之云
 己列 老
 庚列 五升
 辛列 水
 壬列 報川
 癸列 上
 甲列 上
 乙列 上
 丙列 上
 丁列 上
 戊列 上
 己列 上
 庚列 上
 辛列 上
 壬列 上

新
柳系諸本
校下
白
如又
著
考
中
初報
花
う
子
千
三
百
ち
母

修善丸

己巳月十一日

不棄集元(子夏書)

福屋がまゐる

えんやうかマツてんやうか

三

支えおれ

初
韻
語
人
編
彙

十 月 毎の月の平均気温

生薑はかい薑粉

新の國をよと詠られ

子
う
き
あ
ふ
か
ま
を
せ
つ
し

女之口也。子孫之口也。子孫之口也。

香入乃唐文曰く後のし

紙帳より足られしと云ふ

六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

正西臨下注駁孫

書

此字之好年久

甲引自扇邊

倉子年

西州志

二
本
上
之
利
損

病毛羽中

外回老漢

卷之五

下
柳
五
馬
一
利
右
左
千
中
月

[illegible]

壯

市川 二世末建
 豆列
 右列 男の川
 左列 女
 市川 老妻
 沖田 橋本 望
 三ッ山 村 辰川
 坂 余 千 二平
 坂 千 二平
 上 下 千 二平
 西 上 千 二平
 下 千 二平
 千 二平
 新 千 二平

[illegible]

己巳月廿一日
万世集元一千余卷

正位下法眼孫

盤口瓶

田子くみ満ルくつりけ
 けふあかすをめし
 てか
 是かやつり

ト、テ、タ、ト、テ、ト、
 ト、テ、タ、ト、テ、ト、
 ト、テ、タ、ト、テ、ト、

廣州名茶
豆列
黃列
綠列
白列
紅列
黑列
青列
紫列

[illegible]

正體下波羅

[illegible]

[illegible][illegible]

秦網上張玉出次河陽危四年
乃棄集元七千五百餘里

正霍下法眼孫

世宗

三ノ

國入りの知れよ薰撫花

ケ
一
中
海
の
時

ヲ 竊 出 手 々 後 必 然 止 息 子

十村くゞの年〇月〇日迄

多
日
月
年
不
老
心

シニ書目二百六十部

ろとも 賈と食付 ぬり

經主

上
從
甜
波
卷

武列各本

神田 元 隆之

級田下

錦毛
四

下總之々々

卷之十

新刊
馬嶺
信列
皆以
我下
如文
中皮
新報
刊名
五引
二田

李三一六五

死之哀

新皮也

己正月十一日

萬世集

元六千餘量

正
位下
臨服之孫

苦海

一、張明
氏

[illegible][illegible]

武列名木卷
栗新改
栗列 蠶尾
古列 二葉
豆列 旭
韋列 花々
甲列 白皮
中田 檜高登
篠石 橋
飯田 了柳
下谷 瓦うら
神系 仁心
五列 みる

藥師武列野原村文珠并

東
二月廿一日
抄

馬、食、下、
或上言
我亦一知
吾中各
然、
うゝ元
神田と云ふ
名本
色
柳、
如、
華、

第、
右、
五、
十、
三、
八、
二、
七、
六、
四、
九、
一、

卷之五

辰十一日 金
万石各惣七千五百余

正四位下 法興孫

其曰公和

多摩川
ア、
マ、
シ、
ミ、
ア、
マ、
ユニタリケリ、

海門の山師の仁り
流過也三
仲くうとと陰にさす
張の松
獨り行くらんを病生くる藤もやい
葉りあ月咲ぬきるけし
花と雨いと仕きやたうらむ
操めとまたり足せぬめつふを
花をみるみけハ化入庵と見えど

甲列 白 春 連
相列 二 葉 連
武列 各 木 連
級田 町 柳
神田 松 左 盤
豆列 柳
上下級 柳
常列 二 衣 上
所列 三 葉 連
年 也 柳
下 級 柳 谷
柳 毛 柳 葉
柳 系 柳
我 不 一 柳
右 列 二

まつりもなまは海に酒の長
 龍入の云一書とてさう書
 あり中々勇う書東のの
 武龍をけい言つたぬめ
 神もく強禁ひと又軍
 ずさうとつと信うと
 ちう軍りやふひ娘の強
 又婦さうさぬ龍全の
 ありさへは娘とつと
 娘はと西へへと和う
 戸さうとつと和う
 清信者の土をばあ
 清けおのさん
 竹まくとさむるる
 清信者さう世界入
 高くとつとつと

甲列 自廣運
乙列 二葉
丙列 楊
丁列 楊
戊列 楊
己列 楊
庚列 楊
辛列 楊
壬列 楊
癸列 楊
甲列 楊
乙列 楊
丙列 楊
丁列 楊
戊列 楊
己列 楊
庚列 楊
辛列 楊
壬列 楊
癸列 楊

△
又
下
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

子
 子
 子
 子

日本分館

古
安
德
年
一

新編
元二
...

...

...

...

中田屋

新
月
勝
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

新
月
勝
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

新
月
勝
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

中田屋

新
月
勝
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

新
月
勝
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

新
月
勝
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

2384

2384



at

2384

2384

2384

2384

2384